

【生薬名】 枳実[㊦] *AURANTII FRUCTUS IMMATURES*

【起源植物】 ダイダイ *Citrus aurantium var. daidai*



【科名】 ミカン科Rutaceae

【別名】 代代、風水害で落下した未熟果実を枳実として利用してよい

【薬用部分】 枳実：未熟果実、ナツミカン・ウツクミカ等の未熟果実も枳実として使う

枳殻：成熟果実、 " " 枳殻 "

橙皮：未熟果実の果皮

【主成分】 精油 (リモネン)、フラボノ配糖体 (ヘスペリジン)

【薬性】 枳実：気味は苦酸微寒、帰経は脾胃に属す

枳殻： " "

橙皮：気味は微辛微苦平、帰経は不明

【効能】 ◆枳実より枳殻が作用は穏やか (ヘスペリジンの量少い)

【枳実枳殻】 ◆虚弱体質には一般に枳殻を用い枳実を使わない

◆行気消積 (健胃・胸腹の膨満改善) の薬能を有す

◆胃腸運動亢進調整、平滑筋弛緩、子宮収縮抑制、血液凝固抑制、
抗炎症、抗アレルギー、抗腫瘍作用が認められている

◆成熟果実は枳殻といい、枳実の効果の弱いものとして虚証には
枳実よりも枳殻を利用する

◆古 (陳) くて表面が黒くなったものの方がよい

【効能】 ●芳香性苦味健胃薬、1日3gを煎服する

【橙皮】 ●陳皮の代用とするが効果がかなり落ちる

●果汁は橙酢として料理に使われる

【備考】 ●黄色の果実を収穫せずそのままにしておくと色が緑がかっていき、次の世代の果実が同じ木になるので「代代」の名が生まれた

●正月のお飾りには欠かせない果実

【処方例】 ●四逆散、大承気湯、橘皮枳実生姜湯